

# リウマチ・膠原病だより

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター  
日本リウマチ学会認定教育施設

医療法人社団 ヤマナ会

東広島記念病院 広報誌

Vol.10 No.1

発行日 2017年 4月 1日

創刊日 2008年 4月 21日



## 理念

1. 私共は医道を尊び、規律を守り社会的責務にこたえます。
2. 私共は常に研鑽し信頼される病院を創ります。
3. 私共は安全な医療を提供出来る病院をめざします。

## 患者憲章

1. 尊厳を保つ医療を受ける権利を有します。
2. 納得出来る説明と情報を受ける権利を有します。
3. 十分な情報提供下で治療方針を選択する権利を有します。
4. 医療機関を自由に選択出来る権利を有します。



### 仙石庭園 (STONE PARK YAMANA)

この庭園は山名会長が趣味人生の集大成として18年の歳月をかけて企画、設計、施工しました。6,000坪の回遊形式の庭園は、その後も質量共に内容を充実させ現在では日本最大級の石庭となっています。写真は仙石富士の恒例の芝焼き。

## Contents

### ■特集

当院での筋炎診療の実際

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

副院長 山名 二郎

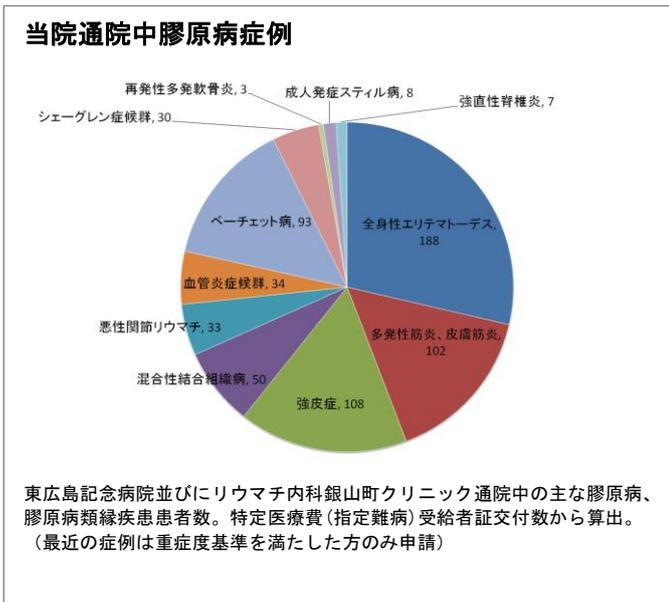
### ■ヤマナ会グループ施設紹介

広島生活習慣病・がん健診センター 幟町



東広島記念病院  
リウマチ・膠原病センター  
副院長 山名 二郎

当院は、関節リウマチ診療の専門施設としての印象が強いですが、膠原病診療も専門施設として携わっております。今回は、当院での筋炎治療の実情と、最近の話題について、ご紹介したいと思います。



### 筋炎特異的自己抗体の保険収載

この1年の間ぐらいに、大変重要な筋炎特異的自己抗体の保険収載が行われました。一つが、抗ARS抗体です。これは、アミノアシル tRNA 合成酵素に対する抗体で、以前から保険収載されていた抗Jo-1抗体はこの抗ARS抗体に含まれる抗体です。今回の収載では、抗ARS抗体の中の、抗Jo-1抗体、抗PL-7抗体、抗PL-12抗体、抗EJ抗体、抗KS抗体の対応抗原のカクテルを固層化したELISAキットによる検査が保険収載されました。

また、抗MDA5抗体、抗Mi-2抗体、抗TIF1γ抗体の3種類も続いて保険収載されました。それぞれ、自然免疫受容体の melanoma differentiation-associated gene 5、ヒストン脱アセチル化酵素の Mi-2β、そして Transcriptional intermediary factor 1 に対する抗体で、それぞれ予後不良の間質性肺炎、明らかな筋症状、そして悪性腫瘍合併と関連があるとされています。

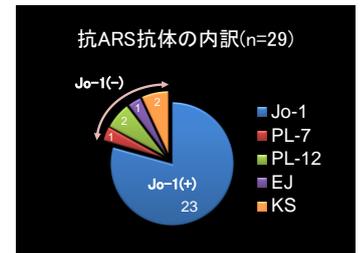
これら4種の検査は、どれも我々としては強く待ち望んでいたものですが、その中でも特に間質性肺炎の予後に大きく関与する抗ARS抗体と抗MDA5抗体は重要です。双方、間質性肺炎と関連が深い自己抗体ですが、その臨床像には大きな違いがあります。

抗ARS抗体陽性例での間質性肺炎は、再発性の経過ではあり

ますがステロイドへの反応性があり、減量困難な例はあるとしても、とりあえず病勢をステロイドでコントロールする事が可能です。

一方、抗MDA5抗体陽性例の間質性肺炎は、初期治療を間違えると、え？こんな軽い状態で来た方が亡くなられるの？という経過を取る事があり、初期治療から専門的知識を持って当たらなくては行けない疾患群です。

当院で経験した抗ARS抗体陽性例の対応抗原の内訳を示します。



抗Jo-1抗体しか保険適応でなかった頃に比して、京都大学などに検査依頼する前に診断に自信が持てる症例が増えるのはありがたい事です。

特徴としては、やはり機械工の手と間質性肺炎です。当院では抗CCP抗体も同時に陽性である症例も数例経験しており、関節炎で受診して、検査で筋炎や肺、皮膚の病変を認めて測定して判明した例もあり、肺病変が軽度の段階などでは注意が必要でしょう。

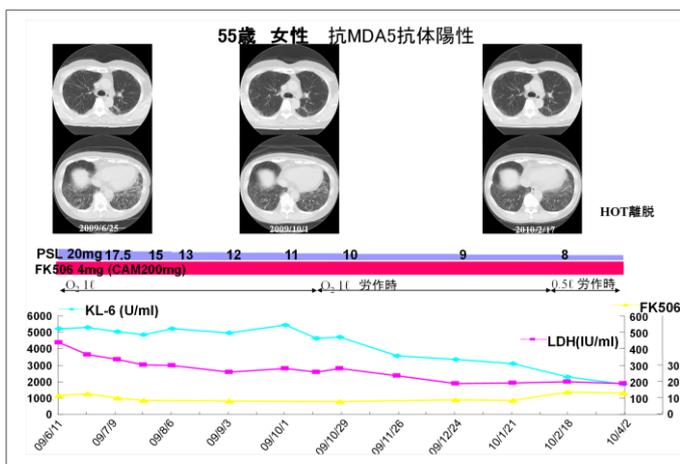
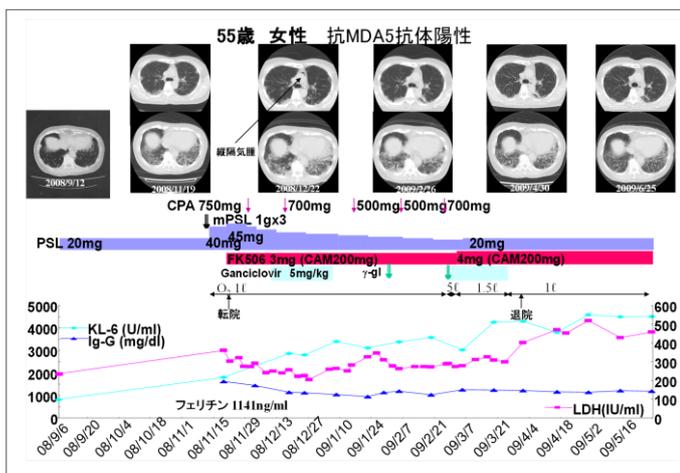
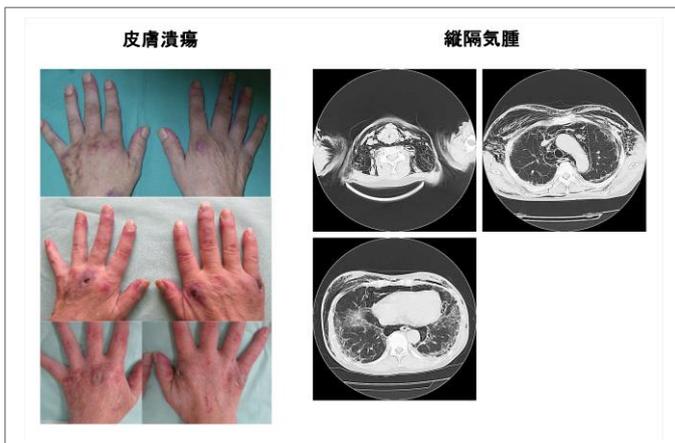
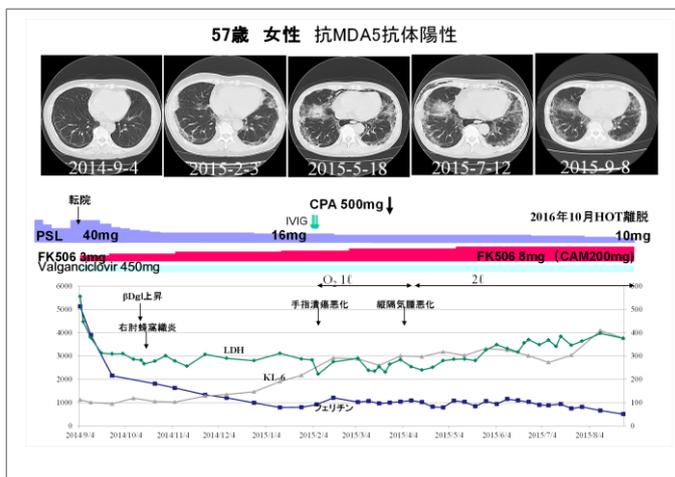
治療経過の特徴としてはステロイド大量で治療を開始して、多くの症例でステロイド減量に伴う再発があるため、早い段階から免疫抑制剤を併用して治療している例が多いです。

当院では過去に6例の抗MDA5抗体陽性例を経験しています。全例間質性肺炎を合併しており、5例が生存しています。治療に難渋、もしくは救命できなかった例の特徴は、多くの報告と一致して、フェリチン高値、治療経過中の皮膚潰瘍の合併、縦隔気腫の合併でした。現在、この抗MDA5抗体陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎の治療は、カルシニューリン阻害剤、シクロフォスファミドパルス、ステロイドの併用での治療となっておりますが、当院の症例の中には、カルシニューリン阻害剤、経口ステロイドの併用のみで問題なく軽快している症例もあり、抗MDA5抗体陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎全例にそれだけの強力な治療が必要ではないようです。しかし、現時点でどの症例がどうなるのか、本当の初診の段階で区別する事は困難であり、初期から強力に治療するしかない状況にあります。さらなる研究の進展が待たれます。

ただ、少なくとも不用意なステロイド単独での治療開始はむしろ

予後を悪化させる可能性があるため、厳に戒めるべき事であるのは確かでしょう。

当院での治療難例、非救命例でも、肺の画像所見も大したことなく、皮膚所見も潰瘍までは至っていない状態で医療機関を受診して、ステロイド治療が始まった後に皮膚潰瘍を形成、肺病変も亜急性に進行しだす、という経過をとっており、初診時に重症感が無くとも適切な対応が非常に重要な疾患です。疑いを持って診察して、怪しかつたらすぐに専門医紹介を検討すべきでしょう。当院での酸素投与が必要になったが改善した例を示しますが、もう救命は困難だろうと考えられていた例も1年、2年の経過で通常に近いレベルまで呼吸機能が改善するケースもあるようで、あきらめないことも大切なようです。



この疾患は、予後不良の疾患ですが、個々の施設での経験数は少なく、多くの症例のより詳細な治療経過、治療開始時の背景などを持ち寄り、突き合わせての討論が必要な疾患であると思われます。知見が増えてきた今でも、ステロイドパルスやエンドキサンなどいらない、それで救命率もなにも死亡例はない、という意見の施設もあり、また、先の3剤併用を行っていても救命できるかは5分5分との施設もあるようです。当院では前者に近い例も経験しており、これが症例の差なのか、タイミングの差なのか、はたまた、治療内容によってはむしろ予後を悪化させるという可能性はないのか、など疑問は尽きません。また、ステロイド単独で治療開始されて1か月後ぐらいに悪化して紹介されたケースは厳しい、その時に多くステロイドが使われていると厳しい、というなんとなくの共通認識もあるようです。

以上のように、疾患予後に関連する自己抗体の保険収載に伴い、筋炎に対する新しい認識がより一層浸透し、治療抵抗性の症例が早期に認識される事で治療成績がさらに上昇する事を期待して当院の診療経験を交えてご報告いたしました。これは、という症例がありましたら専門医へご紹介くださいますようお願い申し上げます。

## □ ヤマナ会グループ施設紹介

### 広島生活習慣病・がん健診センター幟町

一般社団法人日本総合健診医学会

「優良総合健診施設認定」

広島市中心部に位置する中区幟町の広島マツダビルに、最高のホスピタリティを提供できる施設と環境を整備した健診センターを2011年2月に開設しました。昨年4月から同ビル5階に定期健康診断専用スペースも新たにオープンしております。健診フロアの拡充により、より快適な空間で健診を受けていただけます。最新鋭の健診機器と充実のスタッフにより、サービスと質の向上に努めた健診を提供してまいります。お気軽にお問合せください。

- 全国協会健保指定[広島県]
- 各健康保険組合指定

- 各共済組合指定
- 東振協指定

- ◇人間ドック
- ◇生活習慣病健診
- ◇定期健診
- ◇婦人科健診
- ◇脳ドック
- ◇特殊健診
- ◇産業医
- ◇ストレスチェック
- ◇巡回健診



[ 4F 受付 ]



[ 5F 受付 ]



**医療法人社団ヤマナ会**  
**広島生活習慣病・がん健診センター幟町**

場 所/広島市中区幟町 13-4 広島マツダビル 4階・5階  
 電 話/082-224-6661  
 受付時間/午前 8:30~11:30 午後 14:30~17:00  
 休 診 日/土曜の午後および日曜・祝祭日

### 周辺地図



### ヤマナ会 関連施設

- 東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター**  
〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214  
TEL 082-423-6661
- リウマチ・内科銀山町クリニック**  
〒730-0016 広島市中区幟町 13-4 広島マツダビル 5F  
TEL 082-228-6661
- 広島生活習慣病・がん健診センター 東広島**  
〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214  
TEL 082-423-6662
- 広島生活習慣病・がん健診センター 幟町**  
〒730-0016 広島市中区幟町 13-4 広島マツダビル 4F・5F  
TEL 082-224-6661
- 広島生活習慣病・がん健診センター 大野**  
〒739-0422 廿日市市大野早時 3406-5  
TEL 0829-56-5505
- 東広島整形外科クリニック**  
〒739-0024 東広島市西条町御園宇 4281-1 東広島クリニックビル 1F  
TEL 082-431-3500
- さくら MRIクリニック**  
〒730-0016 広島市中区幟町 13-4 広島マツダビル B1F  
TEL 082-224-6610

**発行 広報委員会**

〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214 医療法人社団 ヤマナ会 東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター  
 TEL 082-423-6661 FAX 082-423-7710 E-mail izika@hmh.or.jp http://www.hmh.or.jp/